

「第1回自治医科大学附属病院地域医療連携研究会」が開催されました 地域医療連携部

平成24年1月28日（土）、宇都宮グランドホテルにおいて、自治医科大学附属病院主催、栃木県医師会後援の「第1回自治医科大学附属病院地域医療連携研究会」が開催されました。県内外の地域医療に関わる医師・歯科医師・看護師・その他医療技術職員や連携業務に携わる方々に院内参加者を含め、約230名の参加がありました。

島田病院長の開催挨拶に引き続き、佐田尚宏教授を座長に第1部講演会を開始し、藤井博文腫瘍センター長から「栃木県のがん診療について」として、栃木県の実情と課題等について、次に山本博徳光学医療センター長より「消化器がんの最新内視鏡治療」について、内視鏡治療機器等の躍進で対象範囲の拡大と治療成績の向上が図られているとの講演がありました。続いて、佐田鏡視下手術部長より「栃木県地域連携クリニカルパスの案内」で5大がんにおける栃木県統一パスの導入推進の案内がありました。

次に、「各がん腫における標準治療」と題して、肺がんについて遠藤俊輔呼吸器外科教授、胃がんについて細谷好則消化器外科准教授、大腸がんについて堀江久永消化器外科准教授より現在の標準的治療と当院の実施状況がビデオ映像も駆使して紹介されました。

第2部は藤井腫瘍センター長を座長に「がん診療における地域連携」と題して、上記講演者に丹波嘉一郎緩和ケア部教授を加えたパネラーと参加者とのパネルディスカッションを行いました。透析患者へのがん診療の問題点や患者の大病院志向から地域への回帰という意識改革に地道な取り組みが必要であること、そしてそのためには、地域中核病院や地域の診療所もそれぞれの機能を分担していくので、大学病院も地域医療機関等との連携を強化してもらいたいとの要望など活発な意見交換が行われ、地域連携における当院への期待の大きさや課題について考えさせられました。

今後も時宜を得たテーマによる研究会を開催し、地域の医療関係機関との絆を強化し、大学病院の円滑な運営が図られるよう企画してまいりますので、院内の皆様のご協力をお願いいたします。

なお、今回の研究会の全容は2月末に図書館のビデオライブラリーに登載されますので、ご利用ください。

また、研究会終了後開催された懇親会では、各医療機能機関で活躍されている方々のお話も交えface to faceのコミュニケーションが取れ、病診連携の実があがりました。



講演会



パネルディスカッション